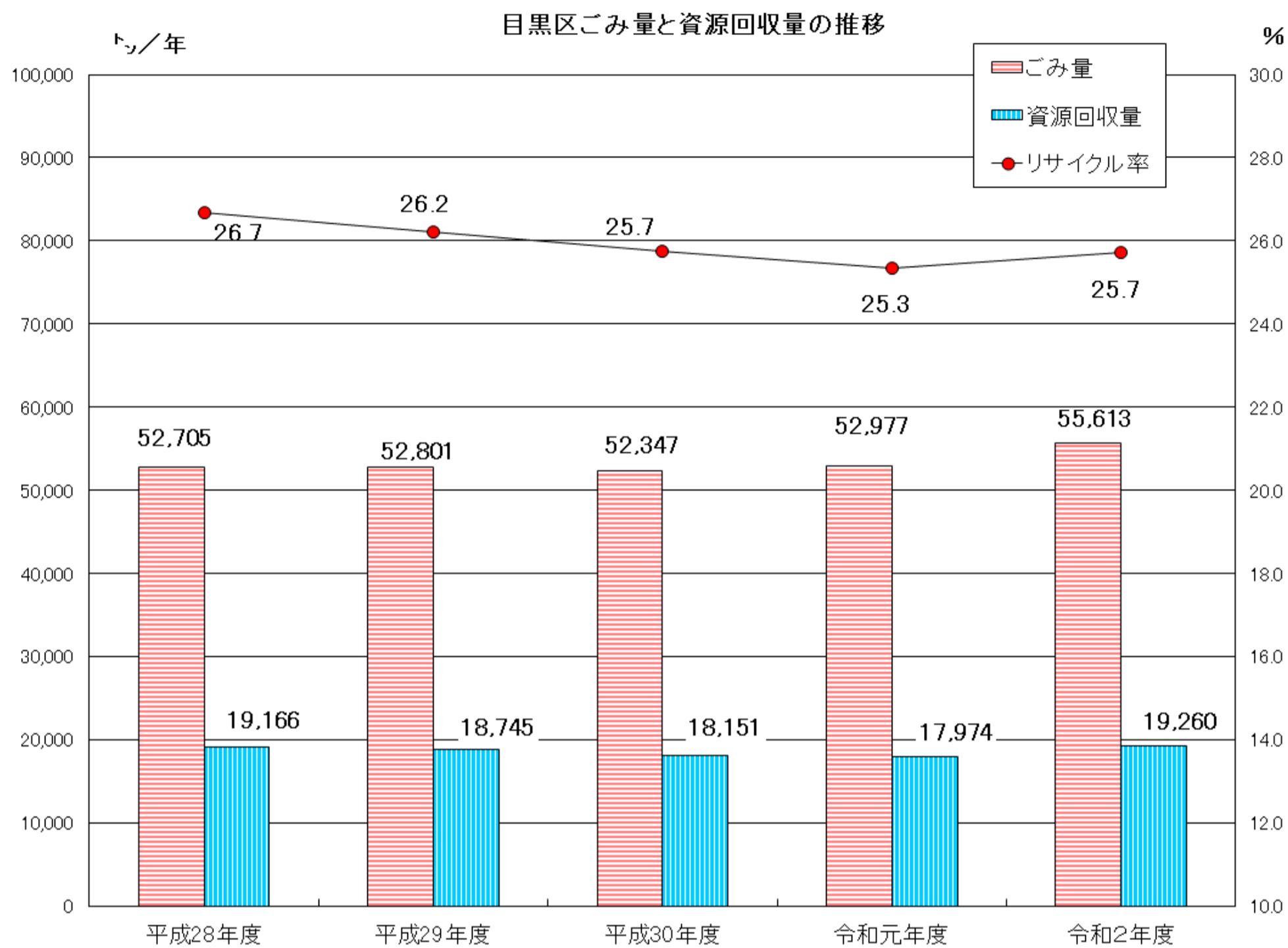


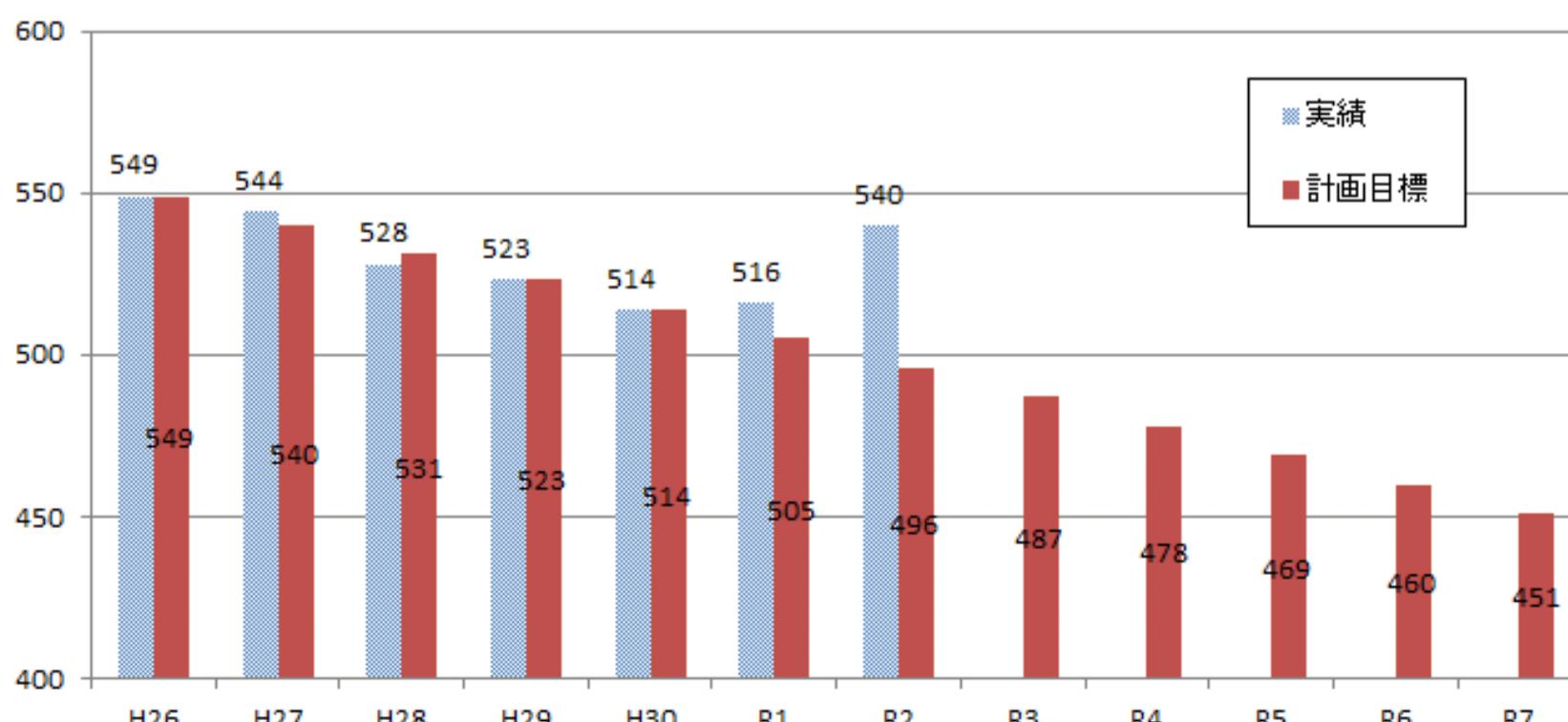
令和2年度目黒区のごみ量と資源回収量について



- ごみ量は前年度に比べて5.0%増加した。品目別で見ると、可燃ごみは3.8%増加、不燃ごみは9.9%増加、粗大ごみは23.3%増加した。新型コロナウイルス感染症対策による外出自粛が影響し、自宅の掃除や片付けをする機会が増えたことでごみ量(特に粗大ごみ)が増加したと推察される。
- 1人1日当たりのごみ量は24g増加した。計画目標との比較は下のグラフを参照
- 資源回収総量は、前年度に比べて7.2%増加した。
- リサイクル率は低下傾向が続いているが、微増に転じた(前年度より0.4%増加)。新型コロナウイルス感染症対策による外出自粛が影響し、自宅での飲食が増えたことでペットボトル、プラスチック製容器包装、びん、缶が増加したと考えられる。

(注)ごみ量、資源回収量、リサイクル率の内訳は、裏面参照

1人1日当たりごみ量の実績と計画目標



目黒区ごみ量・資源回収量の推移

単位: t

品目／形態		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
ごみ	区収集ごみ	48,262	48,307	47,915	48,360	50,207
		-1.8%	0.1%	-0.8%	0.9%	3.8%
		2,169	2,156	2,127	2,143	2,354
		-8.2%	-0.6%	-1.3%	0.7%	9.9%
	粗大ごみ	2,274	2,338	2,305	2,475	3,052
		-4.2%	2.8%	-1.4%	7.4%	23.3%
	合計	52,705	52,801	52,347	52,977	55,613
		-2.1%	0.2%	-0.9%	1.2%	5.0%
資源	古紙 (新聞・雑誌類・ 段ボール)	12,237	11,834	11,315	11,108	11,562
		284	283	274	277	277
		12,521	12,117	11,589	11,384	11,838
		-7.7%	-3.2%	-4.4%	-1.8%	4.0%
	ペットボトル	998	1,030	1,080	1,089	1,195
		998	1,030	1,080	1,089	1,195
		2.1%	3.2%	4.9%	0.8%	9.8%
	プラスチック製 容器包装	1,609	1,540	1,544	1,571	1,719
		-5.1%	-4.3%	0.2%	1.8%	9.4%
	びん	3,016	3,010	2,915	2,887	3,404
		-1.1%	-0.2%	-3.1%	-0.9%	17.9%
	缶(アルミ・ス チール)	814	812	785	799	897
		-1.2%	-0.2%	-3.3%	1.8%	12.3%
	古布類	99	118	113	103	28
		213.3%	19.2%	-4.1%	-9.3%	-72.7%
	紙パック	0	0	0	1	0
		5	5	5	5	4
		6	6	5	5	4
		-6.2%	-1.1%	-5.6%	1.2%	-20.6%
	乾電池	17	16	17	18	18
		7.7%	-4.6%	5.0%	2.7%	3.1%
	小型家電	4	5	7	6	7
		73	79	84	86	84
		76	84	90	105	142
		1.3%	10.9%	7.0%	16.3%	35.5%
	蛍光管	10	11	11	12	13
		-	7.6%	1.2%	10.4%	11.0%
	合計	19,166	18,745	18,151	17,974	19,260
		-5.3%	-2.2%	-3.2%	-1.0%	7.2%
ごみ・資源の総合計		71,871	71,546	70,498	70,951	74,873
		-3.0%	-0.5%	-1.5%	0.6%	5.5%
リサイクル率(%)		26.7	26.2	25.7	25.3	25.7
人口(人)		273,579	276,564	278,889	281,555	282,082
区民1人当たりのごみ量 (g／人・日)		528	523	514	516	540
区民1人当たりの資源量 (g／人・日)		192	186	178	175	187
区民1人当たりのごみ・資源量(g/人・日)		720	709	693	690	727

※ 各欄の下段部分は対前年度の増減比率(%)。なお、回収量等は単位未満を四捨五入して整数で表示しているため、各項目の集計値が合計欄の数値と一致しないことがある。また増減比率(%)も表記どおりの計算結果と一致しないこともある。

※ 人口は、各年度の10月1日時点の数字

※ 許可業者によって直接搬入される事業系一般廃棄物などの持込ごみは、この集計から除外している。

※ リサイクル率 =
$$\frac{\text{資源(集団回収量+分別回収量+拠点回収量等)}}{\text{ごみ(区収集ごみ量) + 資源(集団回収量+分別回収量+拠点回収量等)}} \times 100$$

※ 平成26年4月から使用済小型家電の拠点回収モデル事業を8カ所で実施し、平成27年4月からは10カ所で本格実施した。

※ 平成28年4月から蛍光管(水銀を含む製品)の分別回収を実施した。

※ 令和元年12月からパソコンを含む小型家電の宅配便回収を実施した。